

会 議 録

会議の名称	平成26年度第4回清須市健康づくり推進協議会
開催日時	平成26年11月25日(火) 午後1時30分～午後3時30分
開催場所	清須市役所本庁舎3階大会議室
議題	1. あいさつ 2. 計画(骨子案)について 3. 意見交換 4. その他
会議資料	資料1 健康日本21清須計画(第2次)(骨子案) 資料2 健康づくりをみんなで考える会(市民ワークショップ)について 差し替え資料
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
出席委員	加藤委員、鬼頭委員、辻委員、小川委員、山内委員、関委員、伊藤委員、奥山委員、波多野委員、村上委員、川原崎委員、大池委員、平位委員
欠席委員	近藤委員、後藤委員
事務局	濱島部長 〔健康推進課〕田中課長、森川主幹、武居課長補佐、佐古副主幹、 寺社下副主幹、坂下主任主査 〔高齢福祉課〕古川副主幹
会議の経過	<p>《要旨》</p> <p>1. あいさつ 濱島部長：今年もあと1か月余りとなり、皆様におかれましては大変お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。平素より保健福祉行政全般にご協力いただき、ありがとうございます。今日は、健康日本21清須計画の骨子案を報告いたします。本来、計画素案をお示しする予定でしたが、少し遅れております。今日のご意見を参考に素案を作成し、本年中に第5回を開催したいと考えております。よろしく願いいたします。</p> <p>加藤会長：本日は、お足元の悪い中、ご出席いただきありがとうございます。早速本題に入らせていただきます。なお、ご質問・ご意見につきましては、事務局の説明後に一括してお受けしたいと思います。</p> <p>2. 計画(骨子案)について(資料1) 事務局より、資料1の説明。</p> <p>3. 意見交換 加藤会長：概ね10年先を見据えた計画案をご説明いただきました。いかがですか。 大池委員：ほとんどの方針が、「情報提供します」とか、「周知を図ります」とか、「啓発します」などという表現になっていますが、どこで、どのように具体的に情報提供するのが明確になっていないと思います。「歯と口の健康に関心を持ち正しい知識を身につけよう」とあるが、市のすべての歯科医院の待合室に貼れるチラシを</p>

つくるなど、具体的な内容が必要だと思います。

大池委員：書いてあることは全てわかりますが、全部やらなければいけないという計画は、何もできないのではないかと思います。今年は「たばこをやる」とか、次の年はまた別のスローガンでやっていくとか、9年間の重点事項を明確にするとわかりやすいと思います。

鬼頭委員：歯科医師会では、8020運動などを積極的に周知するため、いろいろな情報を歯科医院の壁に貼っています。また、医院に來ない人向けにも、市の広報で時々情報提供させていただいています。

事務局：1つの手段だけではなく、いくつもの方法でやっていく必要があると考えています。ご指摘のことは参考にさせていただきます。いろいろな事業の中で併せて行っていくこと、優先順位をつけて行うなど実施の方法を検討していきます。

平位委員：保健所で検討した意見を報告します。まず死亡の状況の文中に下線が引いてありますが、特に強調する意味がありますか。平均寿命の文中に、以前は市の健康寿命の記載がありましたが、第2次計画では健康寿命の延伸がテーマとなっているので、健康寿命について記述があるとよいと思います。目標指標別の評価には、平成22年の現状値も入れると比較ができると思います。あと、計画の基本理念に基本方針と重点的などとりくみが記載されていますが、そのつながりがわかりにくいので表現を工夫したほうがよいのではないかと思います。

加藤会長：事務局、何かありますか。

事務局：死亡の状況の文中の下線につきましては、特段必要ないので、取り除いて表現していきます。

加藤会長：健康寿命についてはいかがですか。

事務局：現在は平均寿命しか記載していないので、検討していきたいと思います。

加藤会長：目標指標の現状値、基本方針と重点的などとりくみの表現についてはいかがですか。

事務局：目標指標の評価については平成22年の現状値が入っていたほうがわかりやすいので追加します。基本方針と重点的などとりくみの表現方法については再検討します。

小川委員：前回の会議録をみて驚いたのは、岡本先生の話の中の、女性の死亡率が高いということです。平均寿命の推移のグラフがそれを表していますが、ショックを受けました。こうしたデータを示して訴えれば、効果が高いのではないのでしょうか。疾病別医療費の資料をみると、眼の病気が第3位に上がっている年代があります。眼の病気が早期発見できるよう市の健診で実施していくとか検討していただければと思います。

川原崎委員：高齢者の運動能力が高まってきているというニュースがありました。この計画のすべてが実施できれば、日本一の健康的な市民になると思いますが、実際には無理なので、市が年度ごとの重点実施項目を示して市内の地域の各ブロックに提案し、ブロックを競争させていくというようなしくみを考えたかどうかと思います。成績のよいところには奨励金を出すなども1つの方法だと思います。

事務局：地域でとりくむという点では、ブロックごとの動きという視点を持っておりますが、現段階ではその状況を客観的にデータなどで検証するところまでは達していないと考えています。奨励金についても現段階では難しいかと思っています。

加藤会長：計画の基本理念は、この計画の根幹です。ここが覆されると全体が変わってしまいますが、この内容についていかがですか。

村上委員：私の会社では、睡眠については、「ぐっすり眠れていますか」という内容をお聞きしています。その他、計画の記載の仕方についてですが、現状と課題の記述内容と記載されている図表とのつながりがわかりにくい部分があります。図表には、ポイントを吹き出しで表現するなど記載していただくとわかりやすいと思います。

鬼頭副会長：公共施設などの禁煙の状況は、どのようになっているのでしょうか。

事務局：庁舎内は禁煙ですが、敷地内禁煙ではない現状です。

加藤会長：3つの重点的などりくみのうち、「人とつながる」というのは難しいかと思いますが、ネットワークづくりについていかがですか。

山内委員：寿会としては、生涯学習事業の一環として、グランドゴルフ、ゲートボール、ソフトボール、カラオケ大会などいろいろやっています。最近は、加入者が減少しているのが問題です。また、禁煙や睡眠などが健康に良いと言っても、今の親世代には関心が持てないのが現状だと思います。

山内委員：計画の基本理念の重点事項の3点は、とてもよいポイントだと思います。これで進めていけばよいと思います。

加藤会長：ありがとうございます。計画の体系についてはいかがですか。

小川委員：先日の長野県、新潟県の地震では、どこに誰が住んでいるかわかっているので30分くらいで助けることができたというニュースがありました。健康のためだけではなく、いろいろな意味で地域でのつながりを大切にしていってほしいと思います。

大池委員：計画の基本理念、計画の体系は良くできていると思います。問題は、具体性がないということだと思います。ただ、基本理念の基本方針と重点事項のつながりがわかりにくいので、その点の整理が必要だと思います。

大池委員：地域のつながりという話が出ましたが、ブロック社協はとてもよい仕組みだと思います。ブロックの中に、健康づくりのための主体をどのようにするのかを考える必要があると思います。この部分はブロック任せではなく、市としての施策を明らかにすべきだと思います。

小川委員：ブロック社協について、小地域での福祉施策はどこでも行政がリーダーシップを発揮しています。今の市では、地域が主体的に動いていますが、健康というテーマを明確化していただくことはとてもよいと思います。

加藤委員：キャッチフレーズについて、ご意見をいただければと思います。

大池委員：“こころもからだも元気なまち 清須”の前に“めざせ！”をつけた方がよいと思います。

小川委員：第1次計画から始まっているので“きょうから よいこと スタートプラン”はなくてよいと思います。

伊藤委員：“きょうから・・・”を取って、“めざせ！こころもからだも元気なまち 清須”でよいと思います。

加藤会長：では、この点は、事務局で調整いただくということによろしいでしょうか。では、岡本先生、ご助言いただけませんか。

岡本先生：女性の死亡については清須市の特徴だと思います。女性の健康課題は子どもや家族の健康にも直結しますので解析が必要です。20～30歳代の若い人の健康に関する意識が低いことも文中で触れたほうがよいと思います。それと、基本方針はよいと思いますが、睡眠、たばこ、人とのつながりの3点に着目した理由について説明を加えたほうがわかりやすいと思います。それから、言葉についてわ

かりにくい部分がありますので、誤解のないような表現にしてください。

4. その他

事務局：ありがとうございました。本日のご意見やご要望については、次回またご提案させていただきます。

今回は、12月19日（金）で開催を予定しております。ご参加をお願いいたします。

会議の経過を記載して、その内容に相違ないことを証するためにここに署名します。

署名委員

波多野 眞純 ⑩

伊藤 千里 ⑩

会議の結果	会議の経過に示したとおり
問い合わせ先	健康福祉部 健康推進課 052-400-2911 内線4360